

## 選択講習

### 平成30年度 福井大学 教員免許状更新講習 講習概要

講習番号	925	
講習名	体育指導における子どものつまずきと教材づくり	
講習会場	福井大学文京キャンパス 第1体育館（福井市文京3-9-1）	
担当講師	宗倉 啓	
開設日	平成30年10月20日（土）	
講習時間	9:00 ~ 16:00	6時間
受講料等	6,050円	受講料：6,000円，傷害保険料：50円
受講定員	30人	開講最少受講者数：10人
対象職種	教諭，養護教諭	
主な受講対象者	幼稚園，小学校，中学校保健体育科の教諭，養護教諭	
<b>講習の目標・ねらい：</b> <p>運動のなかでも特に球技は、①自己の身体操作能力②道具操作能力③変化する外的事象への対応能力が統一的に要求されるため、つまずく子どもが多く存在します。そこで、ボール遊びからスポーツ(ネット型球技)へと移行する過程に焦点を当てた、[Aつまずきの原因の分析 Bコーディネーションと教材づくり C指導の順序性]の原則について、易しい実技を交えた講義を行います。</p>		
<b>講習内容・授業方法：</b> <p>[午前の部：DVD視聴と教具づくりを通して講義を行います。]</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1. 学習者のつまずきと原因の分析</li> <li>2. 子どもの発育・発達の特徴—脳・神経系の調整能</li> <li>3. 運動レディネスの整え—アナログン(運動感覚的に類似した予備的運動)の重要性</li> <li>4. 「投げる&amp;とる」遊びのための教具づくりと試行</li> </ol> <p>[午後の部：実技を主とし、必要に応じて講義を挿入します。遊びからスポーツへと移行する場面設定については、ニュースポーツのパドルテニスを題材にとる予定です。]</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1. 多種球技に係る最大公約数的な運動能力（時空間知覚能力，連結能力，リズム能力等）</li> <li>2. ボール遊びからスポーツへと移行するプロセスにおける教材づくりの重要性</li> <li>3. 教材づくり及び指導の順序性に関する原則</li> </ol>		
<b>評価方法：</b> <p>筆記試験（実技試験は行いません）</p>		
<b>連絡事項：</b> <ol style="list-style-type: none"> <li>1. 運動ができる服装と体育館シューズを着用して御参加下さい。実技は容易なものですが、少々汗をかきますので、着替え，タオル，ドリンク類を持参して下さい（温水シャワーあり）。</li> <li>2. 「投捕」のための教具づくりでは、紙を利用してフリスビー，骨ほねボール，ブーメラン等を作成します。使用済みカレンダーのようなやや厚めの紙1枚，ビニールテープ2個を持参下さい。</li> </ol>		